

平成24年6月8日

野田総理大臣の記者会見について



今日、野田総理から、わが国における原子力発電に対する政府の基本的考えと、総理の強い思いを、国民に向けてしっかり語っていただいたものと、重く受け止めている。

福井県民は、原子力発電所の立地から40年余の間、福島の大事故ほどでは勿論ないものの、死傷者を出す大きな事故や放射能漏れなどの事故を幾度か経験し、そのたびに国や事業者に強く働きかけて、再発防止策を積み上げてきた。それと同時に、県の原子力専門職員を多数配置して、油断なく監視の目を光らせてきた。

こうした努力の結果、幸いこれまで放射能による大きな事故は起きていない。そして、地元住民の方々に安心感をもって日々の生活を営んでいただけており、また、周辺地域の皆さんにも、滞りなく電気を送り届け、迷惑をかけることなくすごしていただき、今日に至っている。

大飯原子力発電所3、4号機の運転再開について判断するに当たっては、当然ながら、福島のような事故を絶対起こさせないとの強い決意で臨みたい。

諸々の安全設備はもとより、運転者の事業責任者らが、万一の時の決断ができる体制がきちりとられているかどうか、福島の事故から得られる今後の課題をその都度早急に生かすべきこと等、についてももしっかり確認する。

そして、県原子力安全専門委員会、地元おおい町、県議会のご意見をお聴きするとともに、私自身も、現地の確認と事業者への要望を掲示して、福井県としての判断をさせていただくこととしたい。